

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月20日(13:00~13:15)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 山中、清水、塩尻、高山、後藤、藤本、谷口、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	10			

前回の改善計画
事前訪問や面接等で得た情報の共有をミーティング等で行う。 安心・信頼していただけるよう、職員一人ひとりが配慮したり、気遣ったりしていること等を意見・情報交換する機会を持ち、丁寧な関りに努める。 普段からあいさつの後に、一言その方だけに対する言葉をかけるよう心掛け、話してもらいやすい関係や環境を作れるよう意識する。
前回の改善計画に対する取組み結果
事前訪問や面接等で得た情報は、ミーティング等で情報共有を行うことができている。また、書面等での情報が得られるようにも努めている。 関り方に難しさを感じる利用者に対しては、挨拶はしても、声をかけにくいと感じることがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	8	1		
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	8	5	1		
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	8	1		
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	10	2		

できている点	200字以内で、できていることと、その理由を記入すること
	利用開始前に、ケア会議やミーティング等で情報の共有を行い、面接記録やアセスメントシート等の書面で事前に情報を確認することができている。利用開始直後は、積極的に関り、ご本人やご家族の想いや情報などを得て、職員間で共有できるよう記録に残すなどの対応もできている。 積極的に声をかけ、様子を伺いながら、何を求めているのか気にかけるようにできている。 通いの際に、話が合いそうなお利用者通しなど座る席などに配慮している。 多職種の職員と意見交換に努め、多くの視点が持てるように努めている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	コミュニケーションの失敗を恐れ、積極的に声をかけることに難しさを感じる。 ケアマネジャー等と比べると、直接ご家族と接する機会が少ないため、ご家族が不安に思っていることなどを聞き取ることに不十分さを感じる。 ミーティングでの情報共有だけでは、その場にはいない場合にはわかりにくいことがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	①ミーティングや書面での情報やニーズ等の確認を、積極的に行う。 ②安心して過ごせるよう職員側から積極的な声かけ・コミュニケーションを図る。 ③知りえた情報は、ミーティング等で共有、情報交換し、記録に残す。 ④ご家族とコミュニケーションをとる機会が持てるように努める。(サービス担当者会議等への参加等)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月21日(13:00~13:15)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 塩尻、後藤、谷口、源、山中、上古、若狭、鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	12	2		

前回の改善計画

ご本人の想いを聴き、ご本人の望む生活を一緒に考える機会が持てるように努め、即時対応可能な希望・要望に対しては、できる限り早期の対応に心がける。小さな対応でも即時に対応できることで、想いを伝えてもらいやすい関係づくりに努める。

目標達成に必要な手段や方法をより多く提供することができるために、支援者としての様々な知識や技術をより多く身につけられるよう学ぶ機会を持つ。

前回の改善計画に対する取組み結果

墓掃除や衣類の買い物等の希望に対して対応してきた。望むことができると思っていたら、ご本人の想いが少しずつでも出していただけのように努めてきた。

ご利用者の生活を支えるための社会資源の理解について、他事業所と意見交換を行うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	9	5		
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	9	5		
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	7		
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	12	1		

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

日常の会話の中で、ご利用者の想いや希望を聞き、ミーティング等で職員間の情報共有が共有できた。想いを聞かせてもらいやすいよう、日々の関わりでコミュニケーションを積極的にとるようにしている。ケアプラン作成時等にもご本人の望む生活「～したい」を大切に聞き取るように努めている。

また、想いが伝えにくい方などに対して、客観的な見方で、必要と思われる支援を積極的に実践している。毎月のモニタリングで再確認もおこない、必要に応じ情報の共有を行った。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

本人の目標(ゴール)が分かっていない、把握できていないこともある。

「～したい」と言葉などで表現が難しい方の想いや、ご本人とのコミュニケーション不足でしたいことの把握が出来ていないと思うことがある。他の職員から発信された情報をしっかり把握できていないことや、共有できたが実行までは難しかったこともある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

①ご本人の目標、したいこと、想いを知るために積極的にコミュニケーションを図る。

②言語だけのコミュニケーションではなく、表情や動作、しぐさなどからしたい事を探る。

③実践内容に関して、ミーティング等で振り返り、共有し対応の検討を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月22日(13:00~13:15)

3. 日常生活の支援

メンバー 清水、源、山中、安川、鈴木、上古、宇都、若狭

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	10	2		

前回の改善計画	身体機能だけでなく、定期的にご本人の生活環境などについても見直す機会を持ち、必要に応じ情報共有及び今後について必要な検討を行う。 基本的な介護技術だけでなく、福祉用具等の情報や新たな介護方法などを学ぶ機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	モニタリングの機会の活用や、ミーティング等で見直す機会を持ち、情報共有に努めている。 介護技術等に関する勉強会の実施を行いながら、必要な介護方法が提供できるように努めている。 福祉用具やICTやIoT等についても意識的に情報が得られるようには努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	10	1	
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	10			
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	8	1		
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	8			
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	9			

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 体調の変化や訴えに対し、職員同士で共有し、緊急性の有無についても協議し、できうる限り早期の対応等が取れるよう努めた。状態や体調等に合わせた排泄や食事などの関わりやケアに努めている。 声にならない声についても、多角的な視点から考えられるよう、ミーティング等で検討を行っている。 また、記録を確認し、近況を把握している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご利用者の「以前の暮らし方」について10個以上把握することは難しい。「以前の暮らし方」について、後から知った情報のときには、すでに知っているだろうと思い、共有することができていないこともある。 声にならない声に対して、気づけるよう細かな表情の変化や普段との違い、言動等にも注意が必要。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ①ご利用者の望む生活を支援のためにも、「以前の暮らし方」を意識し知るよう努め共有する。 ②ご利用者の体調の変化や思いに気が付いたポイント(細かな表情の変化や言動・行動等)など共有する。 ③ご利用者の変化に応じ、声掛けやコミュニケーション、ケアや支援内容を変更し適切に対応する。 ④適切な支援が効果的に行えるよう、福祉用具やICT等についても理解を深める機会を持つ。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月23日 (13:00~13:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 塩尻、安川、奥村、山中、上古、宇都、藤本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2	9	3		

前回の改善計画
 ご本人のご近所の方や友人等、個人を取り巻く方々との関係を大切し、必要と思われる支援が共同で提供できるように努める。職員がご近所やご友人に出会った際など、良い人間関係を構築できるよう丁寧な挨拶等から関わりを持つよう努める。接遇やコミュニケーション力に関する学びの機会を持つ。

前回の改善計画に対する取組み結果
 訪問時等、ご近所の方など見かけた際には積極的な挨拶等を心掛けている。
 面談時等、地域との関係性等も情報把握するよう心がけ、利用後にもご本人の話から聞き出せるように努めた。ご利用者が活用できる地域資源や、すでに利用している社会資源の把握に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	11	3		
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	13	1		
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	8	5		
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	10		

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 地域や家族など、ご本人を取り巻く関係性を理解し、サービス提供できるように努めた。ご自宅にご友人が来たり、ご友人宅に行ったりする時間が持てるよう、自宅に必要な時間が持てるように努めた。これまでからの行きつけの美容室に継続して行けるような支援にも務めた。また、本人との会話の中などから、情報を得られるようコミュニケーションに努めた。ご利用者の中には近隣住民さんの協力、商店の協力を得ている方もおられ、生活の把握ができていると感じられる方もいる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 サービスの利用を開始されると、食事や排泄、入浴の機会の確保のため、サービス利用が主となり、今までの地域の方との関係が希薄化する印象も感じられる。
 ご利用者お一人お一人のこれまでからの地域と関係を崩さないために、様々な地域活動への参加ができる時間の確保、身体機能や能力の維持向上を行う支援までは難しいと感じる。
 民生委員や社会資源の理解に不足を感じている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ①ご家族は、社会資源としての立場であると同時に、助けを求める立場にもなることを理解して、ご家族とご本人の関係性、家庭での役割などを把握できるように努める。
 ②地域の社会資源を把握し、活用しながら過ごしていただけるような働きかけを行う。
 ③地域の方とご利用者の関係が継続できるよう、自宅で過ごせる時間を大切に支援する。
 参加できるよう必要な身体機能を維持する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月24日 (13:00~13:15)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 藤本、上古、高山、源、奥村、清水、後藤、谷口、安川、塩尻

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	11	2		

前回の改善計画

地域行事等への積極的な参加を行い、地域の方々との交流の中で、お互いの困りごとの相談や社会資源の把握に繋がるように努める。
安定的に必要なサービス提供が行えるように、適正人員配置のみならず、業務の効率化を図り、柔軟な支援が行えるよう、支援内容の確認や点検、定期的な見直しができる仕組みづくりを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

認知症カフェで、消費者被害について、消費者センターから講演に来ていただき、地域の方々と一緒にご利用者、職員が参加し、注意啓発に努めることができた。
より必要なケアが適切に行えるよう、生産性向上委員会においても業務の効率化を図ることができるように努めている。簡単に調理品なども利用しながら必要に応じ調理時間の短縮となるように努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	9	3		
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	6	2		
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	9			
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	8	2		

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

体調の変化等について、情報共有し必要なケアや支援を提供できるように努めた。また、その体調に合わせ、訪問サービスの回数を増やしたり、泊りサービスを利用したり、必要な支援を行った。
生活に必要な、買い物、受診、理美容の利用に関わる調整、その場までの送迎等の調整支援を行うことができている。地域リハビリテーション支援センターによる個別相談の利用もある。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

社会資源の把握が不足しているように思える。把握ができていないためご本人、ご家族に資源の利用の提案が難しい。地域の支援を活用している方もおられるが、事業所が主として動くことも多い状況。
業務量が多くなっている際に、柔軟性が欠けていたのではと思えることがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

①これまでから継続し、地域資源を活用されている方に関しては、活用を継続していけるよう支援する。
②必要な場面で適切に、通い、訪問、泊りといったサービスが利用できる体制に努める。
③体調や想いの変化を把握し、共有するように努める。確実に記録に残し、ミーティングでも共有を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月25日 (13:00~13:15)

6. 連携・協働

メンバー 宇都、若狭、高山、源、鈴木、清水、藤本、後藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	11	2		

前回の改善計画
地域の防災訓練や地域行事等への参加を積極的に行う。運営推進会議や地元の方などからご意見等をお聞きさせていただき機会を持ち、必要な支援の把握を行い、提供できる体制等の整備にも努める。 ふれあいホーム桃山を知っていただく機会ができるよう、事業所に来ていただけるような機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域の防災訓練への参加を行うことができなかった。 ふれあいホーム桃山を知っていただく機会として、地区の地蔵盆で炊き込みご飯での出店、地域交流スペースでの子育てサロンの開催や老人会での利用等、事業所に来ていただく機会を持たた。 地域ケア会議や他事業所との会議に参加し、情報・意見交換を行い、連携に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	7	4	1	
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	3	8	1	
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	3	4	7		
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	8	5		

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	ご利用者を取り巻くサービス機関等とは、必要に応じ会議の開催を行っている。また、細かな情報共有等も含め連絡を取り合いできている。包括支援センターとの会議にも参加している。 地域の敬老会において、特殊詐欺の講演や劇を行い、啓発活動を行うこともできた。 事業所の理解も深まっているようで、小学校の通学班でみんなが集まるまで、事業所の前で待ったりしていることもある。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	誰でもが訪れやすい環境とまでは言えないと思う。 また、地域の関係機関等との会議に参加する職員と、そうでない職員とで理解の差がある。会議等の内容の情報共有ができておらず、事業所としてできていても、個人としてできていないと判断。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	①他事業所や包括支援センター、地域との会議に参加し、事業所内で情報の共有を図る。 ②地域の活動やイベントに参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月26日(13:00~13:15)

7. 運営

メンバー 鈴木、藤本、奥村、清水、山中、若狭、後藤、宇都

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	11	3		

前回の改善計画

自分たちの強みを理解した上で、何ができるのかを伝えていくことができるよう、「理念・目標」を点検・再設定し、自分たちの言葉で理解する機会を設ける。苦情や申し立て等については、できうる限り早期の対応がとれるように努める。求められている地域ニーズを常々把握するよう心掛ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

理念や目標については、年度初めに勉強会も兼ねて確認し、理解が深められるように努めている。自分たちの強みとしての理解は不足していると思われる。苦情や申し出に関しては、ミーティング等を利用し、すぐに共有できるように努め、記録にも残し対応している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	7	6		
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	11			
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	9	2		
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	3	7	3	1	

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

苦情やご意見・申出等に対し、真摯に対応するよう努めている。改善に向けての意見交換なども実施している。地域に必要な拠点となるよう、地蔵盆などで地域交流スペースを利用いただき、協働できる機会が持てるよう努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

お1人暮らしで、ご家族が遠方におられる方も多く、そのご家族等の想いや意見を聞かせていただく機会が少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

①ご本人やご家族から色々な意見をいただけるよう、話しやすい雰囲気を常に心がける。
②お1人暮らしでおられる方のご家族に対しても、ご様子をお伝えする等して関係の構築に努める。
③苦情や意見に対して、責任をもってしっかりと早期に対応する。
④自分たちの強み、良いところを理解し、お伝えできるように努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月27日 (13:00~13:15)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 上古、宇都、高山、源、奥村、山中、塩尻、谷口、鈴木、清水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	10	3		

前回の改善計画
施設内外の研修等への積極的な参加を勧める。 具体的な内容について、ケア手順書を定期的に見直す機会をもち、確実な支援ができるように努める。 ご利用者が安全に気持ちよく過ごすことができるよう、建物等の環境整備とケアの振り返りを行うことを務める。
前回の改善計画に対する取組み結果
事業所内での勉強会を定期的に行い、ケアの質の向上となるよう努めている。 また、訪問時など確実なケアを実施できるよう、ケア手順書を作成しており、定期的に見直しを行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	6	7		
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	10	2	
③	地域連絡会に参加していますか	0	4	8	2	
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	5		

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	事業所内での勉強会を定期的に行い、ケアの質の向上となるよう努めている。 また、ケア手順書を作成し、確実なケアの提供ができるよう努めており、定期的に見直しも行っている。 ヒヤリハットの対応を検討することで、リスク管理についても取り組んでいる。 地域ケア会議他、様々な会議において、情報・意見交換を行っている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	研修会自体の回数が少なかった。勉強会や研修会に関して、自主参加となると参加が少ない様子もあり。 日々の業務等におられることもあり、資格取得やスキルアップのために取り組むことが難しかった。 地域ケア会議をはじめ、他の会議等で意見交換等を行った内容等を全体で共有することまで

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	①能力の向上も、業務の効率化につながることを理解し、研修や勉強会に参加する。 ②積極的にヒヤリハットを提出し、対策を検討するなど、リスク管理に努める。 ③地域の関係機関等の会議等に参加し、得た情報等を共有できるよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月28日 (13:00~13:15)

9. 人権・プライバシー

メンバー 山中、源、鈴木、藤本、清水、奥村、塩尻、高山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	13			

前回の改善計画
人権やプライバシーに配慮したケアの提供が継続できるよう、勉強会を実施し職員間での理解を深め、不適切なケアから減らすことができるように努める。お互いに遠慮なく声を掛け合える関係を作る。 不適切なケアが行われていないか、運営推進会議や外部評価の機会に第3者の意見をいただけるように努め、必要があれば改善できるよう努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
人権やプライバシーに関する勉強会を行い理解が深まるように努め、身体拘束や虐待ということはない。不適切ケアに関しては、減らすように努めてはいるが、プライバシーに関わる点などで配慮が足りないと思えることもある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	3			
②	虐待は行われていない	10	4			
③	プライバシーが守られている	6	7	1		
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	4			
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	6	1		

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	身体拘束や虐待は行われていない。虐待等に繋がる可能性にもなる、不適切ケアにも注意するように努めてきた。個人情報についても、勉強会を行い適切な管理に努めている。 成年後見制度を2人の方が利用されておられ、保佐人との情報共有にも配慮している。また、必要と思われる方に対し、制度を勧めることもできた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	時間が業務に追われる中で、プライバシーに関して、ご利用者の排泄面に関する情報を、周りに配慮するまでに口頭での申し送りをしてしまい、他のご利用者等に聞かれてしまう可能性があった場面もあった。 不適切ケアを避けるために、感情のコントロールも大切であるが、職員の気分や機嫌が悪い様子が表れていることがある。また、他の職員から改善を求める声掛けまではできていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	①ご利用者の情報の申し送りに関して、場所や声の大きさなどに配慮する。 ※伝える側だけでなく、聞く側からも必要に応じ修正できる声掛けをおこなう。 ②焦りや苛立ちなどの感情が表出しないようコントロールする。 ③身体拘束や虐待に関する勉強会や研修会に取り組む。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福) 丹後福祉会	代表者	濱岡六右衛門	法人・事業所の特徴	特別養護老人ホーム2か所・認知症型共同生活介護・ケアハウスの入所施設と、通所介護2か所・訪問介護・訪問入浴・居宅支援事業の居宅サービス、小規模多機能居宅介護2か所を運営(内1か所はサテライト事業所)しています。 ふれあいホーム桃山は、地域の方々の交流や集える場所として利用していただける地域交流スペース「陽だまり」を併設し、認知症カフェの活動も実施しています。
事業所名	ふれあいホーム桃山	管理者	若狭正展		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人(包括兼務)	人	3人	人	1人	1人	人	3人	1人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	具体的な実践も示せるよう自己評価だけでなく、補足の説明も具体的に行い、意見がいただけるよう努めます。	職員一人ひとりが自己評価したうえで、ミーティング等で検討できていると思います。ミーティングに参加していない職員の意見も、事前に集約しておくことで全体での確認ができています。 初期支援から、ご利用者の日常の支援まで、実施できていますがおもいますが、取り組み内容として、実施されていたかどうかわかりにくい部分もありました。	ルールに基づいて取り組んでいると思います。 取り組んでおられると思いますが、それができているのか、できていないのか見えにくく、分かりにくいいため、評価が難しいと思うところもあります。 評価のポイントも具体的であればよいと思います。	改善計画を具体的に表記し、分かりやすく取り組みやすいように努めます。 計画内容が確実に実施できているかどうか、一定期間後には評価を行います。実施状況や重点的に取り組む内容等、運営推進会議で情報共有の機会を持ちます。
B. 事業所のしつらえ・環境	気持ちよく過ごすことができるよう衛生管理に努めます。 認知症のご利用者が落ち着いて過ごせるようプライバシーや安心できる環境づくりに努めます。	空調なども適温で管理がされており、快適に過ごすことができます。 ご利用者の方々は、ゆっくりと過ごされているように見え、居心地が良いのだろーと思えました。 一人で過ごしたり、個室で横になったりしやすい環境で、一人ひとりに合わせやすい環境でもあると思います。それをうまく活用していると思います。	不快なおいなどもなく、建物もきれいに保っておられると思います。 事業所が居心地の良い空間かどうか、また、どういうものが良いのかといったことを、直接利用されている方の意見を聞くことが大切だと思います。そのため、アンケート調査などをしてはどうでしょうか。 以前、伺った際に、事務所に誰もおられず、インターホンを鳴らすも聞こえず出てこられなかったことがありました。	衛生管理に努め、気持ちよく過ごせる環境に努めます。 ご本人やご家族に対し、アンケート調査などを行い、具体的な改善項目などを把握し、より良い環境整備に努めます。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>地域活動や行事への参加を行います。事業所をより知っていただくことができるよう、認知度を高められるよう、事業所の役割や活動を知っていただく機会を設けます。パンフレットの改修を行います。相談してもらいやすい様、事業所の特徴や何ができて、何ができないかをまとめ、理解を深めていただけるよう努めます</p>	<p>パンフレットの改修が行えていませんでした。 地域活動への参加として、今年度は、地蔵盆に参加し、炊き込みご飯の販売で出展させていただきました。また、その際に、地域交流スペースを開放し、トイレや休憩場所として利用していただくことができました。地域行事への参加や関りを持つよう努めます。</p>	<p>地蔵盆への参加ができたことはよかったです。 区で行っている輪投げ大会などに一緒に参加してはどうかという意見がありました。 事業所が何をしているのか知ってもらうため、概要や内容などを話す時間を持ってみてもよいのではないかと思います。困ったときに相談しやすい場所にもなると思う。</p>	<p>地域行事へ積極的に参加を行っていくとともに、参加してもらえるようなイベントや企画を事業所からも発信できるように努めます。 隣組長会議などで、事業所の概要や内容をお伝えする機会を持ち、知っていただける機会が持てるように努めます。 パンフレットの改修を行います。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>お一人おひとりのご利用者の住む地区の行事等へ一緒に参加する機会を持つよう努めます。</p>	<p>お一人おひとりが住まわれている地区の行事への参加は難しく、行えていないことも多くあります。事業所のある地域の行事やイベントに関しては、地蔵盆への参加、秋祭りでの神楽舞披露の見学など、参加する機会を持つことができました。</p>	<p>広報誌などで、活動内容をお伝えされていますが、各地域に出かけた際の記録なども掲載してもらえるとより分かりやすいように思います。また、活動内容を回覧板でまわしてもらっていますが、継続した方がよいと思います。 ご利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議については、サービス担当者会議などで、民生委員の方の関わりを必要とするケースもあります。 お一人おひとりがお住まいの地域の社会資源なども必要に応じ活用できればと努めていますが、把握できていない部分も多々あると思います。</p>	<p>お一人おひとりのご利用者の住む地区の行事等へ一緒に参加する機会が持てるよう努めます。 個別の支援内容で、民生委員や福祉委員の方の協力が必要な際には、サービス担当者会議等に参加いただき、協力が得られるよう努めます。 ご近所に心配な方等がおられた際には、情報共有が図れるよう努めます。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>様々な意見を参考にし、今後のサービスの質の向上につながるよう努めます。 また、さらなる地域交流の場を上げられるように努めます。</p>	<p>改善計画に対して、概ね取り組むことができていると思います。</p>	<p>運営推進会議は円滑に実施することができていると思います。地域の現状等について、情報共有する機会になってもいます。また、市からのお知らせや動向なども情報として得ることができています。</p>	<p>運営推進会議を通じ、情報交換を行います。 様々な意見・情報交換の中で、サービスの質の向上になるように努めます。 事業所として地域活動を盛り上げられる協力体制に努めます。</p>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>職員一人一人がきちんとした対策を取れるよう、最低年に1回は消防署より指導を受ける。 また、避難訓練及び連絡訓練を実施する。 備蓄品の保管、期限の管理を定期的に行います。</p>	<p>消防訓練（避難訓練及び連絡訓練等）の実際の見学を行い、対策に努めていると思います。その際に、消防署からの指導も受けておられ、継続してもらいたいと思います。</p>	<p>事業所の立地場所として、市が指定する避難場所に行くまでの一時避難所的な活用ができると思い、必要に応じ開放していただけるようなことも検討いただきたいです。 市としての防災訓練もありますが、区の訓練であれば、避難訓練だけでなく、炊き出しや防災グッズの展示なども行っており、区の防災訓練に参加することも良いと思います。また、事業所のご利用者が区の訓練に参加することで、顔が見える関係作りにもなると思います。 災害時優先電話の設置なども検討されても良いのではないかと思います。</p>	<p>消防避難訓練を年に1回は実施し、消防署より指導等を受けられるよう努めます。 地域の防災訓練に参加するように努めます。また、風水害や地震など自然災害に対する訓練の実施記録等を確認していただき、意見等がいただける機会を設けます。</p>
----------------------------	---	--	---	---